

2011 年第 1 回 ODA 政策協議会 議題提案

1) 議題案名: MDGs フォローアップ会合の評価と今後の取り組み

2) 議題の背景:

6 月 2～3 日の 2 日間、日本政府と JICA、関連国際機関の共催により、「ミレニアム開発目標 (MDGs) フォローアップ会合」が開催された。本会合は、昨年 9 月に米国ニューヨークにて開催された国連 MDGs 首脳会合の成果を引き継ぎ、MDGs 達成のために必要な取り組みについて、関係者が一堂に会して討議し、合意を形成することを目的としたものである。JANIC 及び「動く→動かす」は、日本政府が震災の被害に直面し、救援や復興に向けて多忙を極める状況下にもかかわらず、MDGs への貢献を重視する立場から、本会合を開催したことを評価するとともに、本会合への市民社会の参画への協力を最大限行ってきた。

菅総理は、本会合冒頭のスピーチで、我が国は震災復興と MDGs 達成への努力を通じて、弱い立場にある人に優しく、一人ひとりが自己実現できる強靱な社会をめざし、菅コミットメントを着実に実施する旨を述べた。総理の言葉を現実にするためには、MDGs 達成のための資金を含む具体的な行動計画を策定する必要がある。

そこで第 1 回 ODA 政策協議会では、MDGs フォローアップ会合の評価と日本政府による今後の取り組みについて議論したい。

3) 議題に関わる問題点 (議題にあげたい理由):

MDGs フォローアップ会合の評価と、MDGs 実現のための資金を含む具体的な行動計画について議論するため。

4) 外務省への事前質問 (論点を詰めるために事前に確認しておきたい事実関係など):

- ・ 当初『成果文書』の採択を目指していたと理解しているが、最終的に『議長声明』になった理由、経緯。また、この声明を今後の MDGs 関連の国際会議やプロセスにどのように活用していく予定か。
- ・ 日本政府として、今回の MDGs フォローアップ会合をどのように評価しているのか (当初の目的をどの程度達成できたのか)。* なお、既に地球規模課題総括課からいただいた「ミレニアム開発目標 (MDGs) フォローアップ会合 概要と評価」については拝見しているが、「評価」の部分についてはより詳細な資料を事前にいただけると有難い。
- ・ 会合の最後で、南アフリカの参加者が「次回の MDGs フォローアップ会合は南アフリカで開催する」と述べていたが、次回の会合の概要 (日程、場所、準備状況)、および会議開催に向けた日本政府の協力の予定について。

5) 議題に関わる論点 (定期協議会場で主張したいことや、外務省に確認しておきたいと現段階

で考える点):

- ・ JANIC 及び「動く→動かす」のプレスリリース(NGO 側の MDGs フォローアップ会合の評価)に関する意見交換。特に、NGO 側が「MDGs 達成に不可欠な既存の多国間の誓約や、十分に検討・戦略化されていない各種の課題に関して、各アクターがどんな責任をもって担い、『違いを作り出すのか』についての骨太な議論はあまり聞かれませんでしたと評価していることに対するコメントを伺いたい。(別添資料参照のこと。なお個別イシューの具体的な論点について、こちらからいくつか提示させていただく予定)
- ・ 日本は MDGs 達成に向けて、資金も含めてより積極的に貢献する必要がある、そのためには、2次・3次補正、来年度予算で ODA を減額することなく、むしろ増やしていくことが必要である。会合では「首コミットメントを着実に実施する」ことが確認されたが、MDGs 達成のための資金拠出の予定について教えていただきたい。特に、全体会議では世界基金を含む ODA 予算の削減について、第2次補正予算でしっかりと取り戻すよう要求する旨が述べられたが、現時点での政府内での検討状況について伺いたい。

氏名:宮下恵

役職:調査・提言グループ マネージャー

所属団体:(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)

連絡先:03-5292-2911

別添資料:

動く→動かすと JANIC のプレスリリース(別添、PDF)